




※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す

9月21日、第1回鹿屋市高齢者模擬徘徊訓練が市役所周辺で行われました。これは認知症の人が行方不明になった時に、早期に対応できる仕組みづくりを目的として開催されたもの。

徘徊者の搜索訓練会場の一つとなったプラッセだいわでは、参加者が認知症役の徘徊者を搜索し、大勢で取り囲まない、優しく声をかけるといったルールを意識しながら「どこから来たんですか」といった声かけを行っていました。

また、認知症に関するクイズなども出され、参加者は病気に対する理解を深めていました。



秋の全国交通安全運動で交通安全を呼びかける

9月20日、秋の全国交通安全運動にあわせ、市役所駐車場で、交通死亡事故ゼロを目指しての出発式が行われました。

出発式では、鹿屋警察署や交通安全協会など、市の交通安全に関わる関係機関から約150人が参加。交通事故の撲滅に向けた取り組みをあらためて決意しました。

その後、参加者や鹿屋幼稚園の園児らが、市役所前の交差点で停車した運転手に「死亡事故を無くすため、安全運転に努めてください」と声をかけながら、ペットボトルやチラシを配布し、交通安全の呼びかけを行いました。



例年、好評のオレンジパークが開園

9月28日、串良町有里のみかん園「鹿屋市オレンジパーク串良」が開園しました。

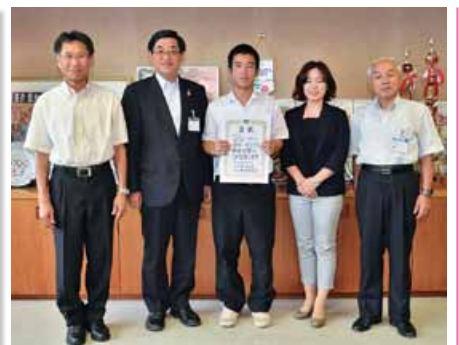
同パークには、温州みかんやネーブルなど約1,200本が植えられています。開園式には、秋晴れのなか、細山田保育園の園児12人が出席。テープカットのあと、みかん狩りを楽しみました。

開園期間は、みかんがなくなり次第閉園となります。



西原JRC クロスカン トリーで全国大会へ!

9月に薩摩川内市で行われた「全国小学生クロスカントリー研修会代表選考会」で優勝した西原JRCのメンバーが、9月25日、市役所を表敬訪問しました。代表の吉田隆之介くん(西原台小6年生)は、12月に大阪の万博記念公園で開催される全国大会へ向けて「お世話になった人へ、恩返しができるよう、精一杯頑張りたい」と抱負を話してくれました。



バドミントンで頂点を目指す

9月9日、九州中学校総合体育大会バドミントン競技男子シングルスで優勝した山元拓摩くんが市役所を表敬訪問しました。

ジュニアナショナルU-16強化選手の指定を受けている山元くんは「全国大会ではベスト16止まりと悔しい思いをした。今度、高校2年生以下で行われる全国大会では活躍したい」と力強く抱負を話してくれました。